

【 接続語 一覧表 】

●語と語、文と文、段落と段落等をつなぎ、前後がどんな関係であるかを示す言葉。

分類	働きと具体例 ※自立語のみ
①順接	前のことがらが 原因・理由 となり、後にその 順当な結果 がくる。 だから、すると、したがって、それで、そこで、それゆえ、ゆえに、よって
②逆接	前のことがらと 対立 するようなことがらが後にくる。 ※対比・不調和・反対・逆 しかし、ところが、でも、けれど、それでも、が、だが、だけれども、けれども、しかしながら、それなのに、ですが、だのに
③並列	二つ以上のことがらを 対等に並べる 。「並立」ともいう。 また、そして、それから、および、ならびに
④添加	前のことがらに 新しいことがら や 重要な事柄 をつけ加える。 そして、また、それから、さらに、そのうえ、しかも、おまけに、それに、なお、かつ
⑤選択	前のことがらと後のことがらの、 どちらかを選ぶ 。 ※選択的並列 または、あるいは、それとも、もしくは、ないしは
⑥説明	(1)理由:なぜなら ※根拠 (2)換言:つまり、要するに、すなわち (換言:言いかえること) <small>かんげん</small> (3)例示:たとえば、いわば ※比喻 (4)補足:ただし、もっとも、なお (補足:足りない点を補うこと。) <small>おぎな</small> ※条件・例外
⑦転換	話題を変える。 ※話題転換 さて、ところで、では、それでは、そもそも、ときに

■注意

※「添加・並列」の接続語である「そして」を「順接の接続語」と捉え違えている小学生が非常に多い。

「そして」には前後の因果関係を積極的に示す働きはない。

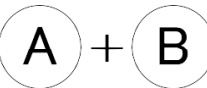
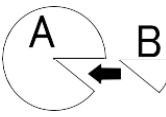
※「そして」等の「添加の接続語」の後には「新しい事柄や重要な事柄」が置かれる場合が多い。

- ①私は七時に起きた。だから、顔を洗いに行った。
・前後の内容について、因果関係を積極的に示す文脈では『順接』を用いる。
- ②私は七時に起きた。そして、顔を洗いに行った。
・前の事柄に、別の新たな事柄を付け加える文脈では『添加』を用いる。
(前後の内容について、因果関係を積極的に示す意図のない場合)

※テストや演習時に、各接続語の働きをよく知らずに接続語を必死に探してチェックしている小学生が非常に多い。チェック作業を主眼とするあまり読解が疎(おろそ)かになるという**本末転倒に陥(おちい)らぬよう注意**。
※接続語は、日常においては話者や書き手の感情の表出、また、主観性や客観性のニュアンスなど、その時々に応じてさまざまに使い分けられている。中学入試では**小学生の語感を試す出題も珍(めず)らしくないので、文脈や場面、状況に応じた言葉の選択、使い分けができるよう、普段から語感を磨き、表現力を高める訓練にも注力しておきたい**。

※前後それぞれの「主語・述語を押さえて要約し、文脈をたどる」訓練により判定の精度が向上する。
※「説明」の項に含めた「たとえば・言わば・つまり・要するに」は、品詞としては「副詞」である。連結機能を持つ一部の副詞は「接続語」として扱われる。

※文章を書く際には**接続語の後に「読点(、)」を打つことが原則**となっている。

分類	例文
①順接	・強い風が吹いてきた。 【だから】、 ・木々の枝が大きく揺れた。 ※「だから」を「すると」に置き換えて読んでみよう。同じ順接の接続語でも使い方やニュアンスが異なるので、普段から語感を磨き、記述表現にも活用しよう。
②逆接	・全力で走った。 【しかし】、 ・ゴールの手前で転んでしまった。 ※「しかし」を「ところが」に置き換えて読んでみよう。同じ逆接の接続語でも使い方やニュアンスが異なるので、普段から語感を磨き、記述表現にも活用しよう。
③並列	・笑っている人もあれば、 【また】、 ・考え込む人もある。 ※「並列」の場合、前後を置き換えても元の文と意味が変わらない。
④添加	・私は七時に起きた。 【そして】、 ・急いで出掛ける準備をした。 ※「添加」の場合、前後の内容を置き換えると意味的に不自然となる。ただし、使われ方によっては「並列」と「添加」のどちらかが決定できないことがある。 
⑤選択	・コーヒーにしますか。 【それとも】、 ・ジュースにしますか。 ※「いずれかを選択する」という文脈で並列的に使用されることから、「選択的並列」という捉え方をするとよい。
⑥説明	(1)理由・根拠 ・私はA君が嫌いだ。 【なぜなら】、 ・彼はいい加減だからだ。 ※「順接」の場合と異なり、「理由・原因」が後にくる。
	(2)換言 ・文法とは、 【つまり】、 ・言葉の決まりのことだ。 ※後の内容が「言い換え」、あるいは「要約内容」、「抽象化」であるため、前後の内容が等しくなる。
	(3)例示・比喻 ・僕の趣味は読書です。 【たとえば】、 ・冒険ものや探偵ものをよく読んでいます。
	(4)補足(条件・例外) ・さあ、遊んでおいで。 【ただし】、 ・5時になったら帰って来なさい。 
⑦転換	・激しい雨だ。 【さて】、 ・明日の遠足はどうか。